

平成 28 年度 大学生の力を活用した集落復興支援事業

調査研究報告書

福島県会津若松市湊地区の地域活性化策について

公立大学法人 会津大学短期大学部 れっつ！ミンナと

平成 29 年 2 月

目次

1. はじめに
2. 湊地区の概要と現状
3. 地域資源
4. 活動スケジュール
5. モニター体験
6. プロモーションビデオ
7. 広告小学校
8. 活性化のシナリオ
9. おわりに
10. 謝辞

1. はじめに

私たち「会津大学短期大学部れっつ！ミンナと」は、平成 27 年 4 月に会津大学短期大学部産業情報学科経営情報コース青木孝弘研究室に在籍する当時の 2 年生 6 名（代表、馬場真由）で結成され、平成 28 年 4 月から現在の 2 年生 6 名（代表、渡辺亮江）が引き継いで活動している。本研究室では通常、中小企業の経営戦略、伝統産業の人材育成、インバウンド振興など個々それぞれのテーマで研究を行っているが、本研究は湊地区をフィールドにグループとして研究活動を展開している。

活動を進めるにあたっては、私たちとほぼ同時期に発足した湊地区地域活性化協議会や地域在住の若者と協働して行うとともに、プロモーションビデオ（以下、PV という）の製作にあたっては、本学デザイン情報コースでインターフェイスを専攻する横尾誠研究室の協力を得た。また、次年度以降の事業継承を念頭に、本研究室 1 年生 5 名もサポート役として活動に参加した。

平成 28 年度れっつ！ミンナと構成メンバー(50 音順)

- ・酒井彩那
- ・富永清楓
- ・夏井日奈子
- ・八旗奈緒
- ・渡辺亮江(代表)
- ・渡部みなみ

2. 湊地区の概要と現状

2.1 湊地区の概要

湊地区は、会津若松市中心部まで山を一つ越え、車で約 30 分かかる場所に位置している。また、水稲・大豆などの栽培が盛んな農業地帯で、集落営農の組織化が進んでいる。農産物をいかしたグリーンツーリズムや、夏は湖水客でにぎわう猪苗代湖、天然記念物である赤井谷地などの地域資源も豊富である。



湊地区に関する地勢、人口データは下記の通りである。

- 土地面積(H25) : 46,023m²
- 人口(H26) : 1,948 人
 - ・ 20 歳未満 : 267 人
 - ・ 20-39 歳女性 : 132 人
- 世帯数(H26) : 649 世帯
- 高齢化率(H26) : 38.2%

会津若松市に編入合併した昭和 30 年当時と比べ、現在の人口は半分以下まで減少しており、高齢化と若年世代の減少が急速に進んでいる。それに伴い、基幹産業である農業の後継者不足やコミュニティーの活力衰退が問題視されている。湊地区は 16 の集落で形成されており、土地面積も広い。そのため人口は一見多いように思えるが、人口減少や、高齢化が深刻な状況である。また、地域に病院がないことや、公共交通路線が利用しづらいなどの問題もある。

2.2 湊地区の現状

湊地区は県内有数の豪雪地帯である。住民からは、「除雪ができなくなると住めない」、「年金暮らしでの暖房費は高負担である」、「冬期間は豪雪と強風で車が通行できない状態にあり不安」といった意見が出されている。また、人口減少の影響を受け、小学校が統合するなどしている。さらに地区内の商店はコンビニが一軒営業するのみである。



写真1：湊地区の冬の様子



写真2：廃校になった原小学校



写真3：廃業した自転車屋さん

3. 地域資源

私たちは、活動初年度となった平成 27 年度に湊地区を実踏調査し、旧跡 15 ヲ所、寺社 13 ヲ所、景観 8 ヲ所、食べ物 38 件の地域資源をリストアップした。その中で特に活用が見込まれる 4 つを下記取り上げる。

① 不動明王清水



その名のとおり、清水の湧き出る神社である。暑い日でもひんやりとした空気で清水のそばにはベンチも置いてあり、癒し兼パワースポットとして利用できる。

② そば畑



湊の食の代表でもある蕎麦だが、そば畑は景観としても美しい上に食の面でも大きな魅力である。

③ 猪苗代湖



湊イチの絶景である猪苗代湖。猪苗代湖は見る場所や季節によってまったく違う風景が楽しめる。秋には真っ青な空と湖、そして紅葉の赤がよりいっそう魅力的である。湖畔の道路は車の通りも少なく、ロードバイクのサイクリングに適している。

④ 豆腐もち・蕎麦



豆腐もち・蕎麦を使った料理などが有名な湊地区。豆腐もちは最近 TV 番組などで取り上げられ注目が集まっている。「湊でしか食べられない」という希少価値のある食べ物である。

4. 活動スケジュール

活動 2 年目となる平成 28 年度（2016 年度）の年間スケジュールは下記の通りである。

平成 28 年

- 3 月 25 日 引き継ぎ
- 5 月 24 日 地域関係者と打ち合わせ（於：会津短大）
- 6 月 25 日 バーベキュー（地域住民との交流会）
- 6 月 28 日 サイクリング実走調査
- 8 月 8 日 広告小学校（於：湊小学校）
- 8 月 28 日 サイクリング打ち合わせ 1 回目
- 9 月 2 日 サイクリング視察
- 10 月 25 日 サイクリング打ち合わせ 2 回目
- 11 月 3 日 体験モニター
- 11 月 13 日 湊もちそば祭り

平成 29 年

- 1 月 20 日 PV 撮影
- 2 月 15 日 湊報告会



モニター事業打ち合わせの様子



バーベキューの後のゴミ拾いの様子



バーベキュー準備様子



湊での報告会

5. モニター体験

スケジュール：6月28日 サイクリング 実走調査
 8月28日 サイクリング打ち合わせ1回目
 10月25日 サイクリング打ち合わせ2回目

実施日：11月3日

目的：猪苗代湖周辺の絶景ポイントをサイクリングしたり、湊地区の郷土料理である「豆腐もち」作りをしたりと湊の魅力にふれる体験メニューを考案し、モニターの評価を得る。

6月28日に実走調査を実施し、湊地区の絶景を楽しむ守屋神社、猪苗代湖、恋ヶ崎、赤井の大イチョウ、不動明王清水を回るルートを作成した。社会人1年生のゼミOG2名に参加頂いたが、悪天候のため残念ながらサイクリングはできず車での案内となった。

豆腐もちは湊の方々につくり方を教えて頂き、湊の方、OG、ゼミ生が協力して作った。さらに不動明

王清水の水を使用して作られた「水ゼリー」も頂いた。

モニターの感想

- 猪苗代湖の景色が綺麗だったが、説明があるとよい。
- サイクリングコースがわかるマップがあるとよい。
- 湊の人と触れ合いながら体験できるのが良かった。
- 食べ物が美味しかった。

今後の課題

- いくつかのコースを作成しマップ化する。
- 湊の魅力をより深く知ってもらうために、ポイントの説明の充実が必要。



猪苗代湖にて

豆腐もち作りの様子



恋ヶ崎

不動明王清水

6. プロモーションビデオ製作

実施日：1月20日

目的：湊地区のプロモーションビデオを撮影、編集し、Youtubeなどの動画サイトに投稿して魅力を発信する。

コンセプト：Iターン、Uターン者を対象としたストーリーを考案。湊地区出身者が、「湊に住んでいたときのことを思い出し、湊へのUターン」を考えているとして設定。過去の回想シーンで湊地区の魅力をアピールする。

1月20日に本学デザインコースでインターフェイスを専攻するゼミと連携し、湊でPVの撮影を行った。湊地区の遠藤さんが作詞・作曲した曲に合わせた湊の魅力がたくさん詰まったPVになっている。



7. 広告小学校

実施日：8月8日

目的：湊地区の子ども達を対象に、映像づくりとPRについて学べる講座を開講し、湊地区のどのようなところが良いのか、どのような魅力があるのかを一緒に考え、将来も湊地区に住み続けたいという愛着を育む。

※「広告小学校」は株式会社電通の社会貢献活動の一つでCM作りを学習するツール。

場所：湊小学校

参加対象：湊小学校4年生～6年生 21名

当日スケジュール	9:00～9:45	CMの秘密をさぐろう
	9:55～10:40	CMのアイデアを引き出そう
	10:50～11:35	CMの劇をつくろう
	11:45～12:30	CMの劇の発表会をしよう

参加した小学生の意見

- ・「自分でCMを作ってCMを作る大変さなどや面白さなどを味わうことができた。またやってみたい」

- ・「CMを作る貴重な体験ができてよかった。自分が伝えたいことを表現することがこんなに難しいことを改めて実感した」
- ・「みんなで協力してCMを作るという大切な時間をすごせて楽しかった」
- ・「広告小学校のお姉さんと一緒に作る場所が楽しかった」 など様々な意見が寄せられた。

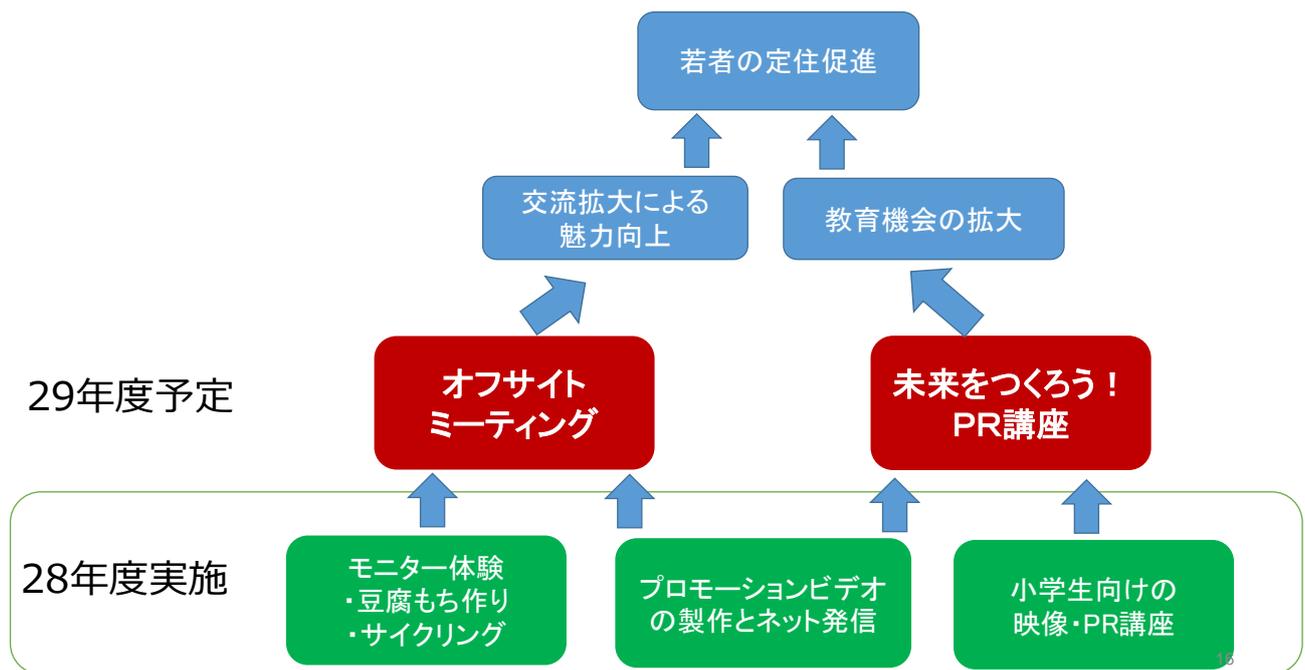


8. 活性化のシナリオ

2年目の活動を終え、次年度以降の活性化のシナリオを考えた。湊地区が最終的に目指すのは「若者の定住」である。そのために、「交流拡大による魅力向上」と「教育機会の拡大」が不可欠な要素である。そこで次年度は2つの事業を実施する。

1つ目はオフサイトミーティングである。オフサイトミーティングとは湊と離れた場所で湊にゆかりのある人、関心のある人を集め、交流の場を提供し、湊の魅力を再発見してもらうというものである。オフサイトミーティングの参加者をつくる方法としては、主にソーシャル・ネットワークを使い、今年度作成したプロモーションビデオも活用する。5月頃に郡山市内、9月頃に仙台市内で開催する。そして10月には湊地区にこれまでの参加者に来てもらって、今年度のモニター事業の成果を活かし、皆が気軽に交流できるような体験メニューをつくりたいと考えている。

2つ目は未来をつくろう PR 講座である。この事業は今年度の実施した広告小学校の発展版で、子供たちが湊の未来を考え、将来像を表現するような内容にする。



9. おわりに

私たちは、本研究室では中小企業の経営や起業について学んでおり、経営的視点から集落復興について考えてきた。湊地区の活性化の最終的な目標は、若者の定住促進である。定住を促進するためには交流拡大による魅力向上と教育機会の拡大が必要であり、そこで、私たちはモニター体験、プロモーションビデオの製作と発信、広告小学校を実施した。

活動を行うにあたり、バーベキューなどの交流の場を設けて頂いたり、それぞれの事業の打ち合わせに積極的に参加頂いたり、とても参考になる意見や提案を提示して頂いたりなど、湊地区の方々の気遣いと温かさに私たち短大生は何度も助けて頂いた。私たちは、今春卒業を迎えるが、湊地区に暮らす人々と地域の魅力に、一人でも多くの若者が気づいてくれるよう、今後も共に協力していきたい。

10. 謝辞

本調査活動をするにあたり、ご協力していただいた湊区長会会長の小檜山様をはじめ、湊地区地域活性化協議会事務局長の鈴木様や役員の皆様、湊地区公民館館長と職員の皆様、会津若松市地域づくり振興課の渡部様、福島県企画調整部地域振興課の職員の方々へ深く感謝いたします。

平成 28 年度 学生代表
2 年 渡辺 亮江